

予算特別委員会記録（第2号）

平成24年9月25日 火曜日 午前10時00分開議

安 部 隆 委員長 我 妻 昇 副委員長

出席委員（15名）

1番	赤 間 泰 広	委員	2番	梅 津 善 之	委員
3番	江 口 忠 博	委員	4番	今 泉 春 江	委員
5番	小 関 秀 一	委員	6番	竹 田 博 一	委員
7番	我 妻 昇	委員	8番	大 道 寺 信	委員
9番	町 田 義 昭	委員	10番	佐々木 謙 二	委員
11番	安 部 隆	委員	12番	渋 谷 佐 輔	委員
13番	高 橋 孝 夫	委員	14番	大 沼 久	委員
15番	小 関 勝 助	委員			

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	飯 澤 常 雄	総 務 課 長
平 英 一	財 政 課 長	遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長
青 木 邦 彦	税 務 課 長	宇 津 木 正 紀	市 民 課 長
松 木 幸 嗣	健 康 課 長	小 泉 良 一	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長
種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長	遠 藤 正 明	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
梅 津 和 士	市 民 相 談 セ ン タ ー 所 長	加 藤 芳 秀	教 育 長
那 須 宗 一	農 林 課 長	中 井 晃	商 工 振 興 課 長
平 正 行	観 光 振 興 課 長	渡 部 政 明	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長
鈴 木 一 則	管 理 課 長	齋 藤 理 喜 夫	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	齋 藤 環 樹	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
高 橋 徹	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	児 玉 行 宏	監 査 委 員 事 務 局 長
孫 田 邦 彦	農 業 委 員 会 事 務 局 長	鈴 木 智	消 防 主 幹

事務局職員出席者

松本 弘	議会事務局長	寒河江 新一	補佐
鈴木 和夫	議事調査係長	高橋 由美	庶務係長

本日の会議に付した事件

- 議案第62号 平成24年度長井市一般会計補正予算第2号
- 議案第63号 平成24年度長井市国民健康保険特別会計補正予算第1号
- 議案第64号 平成24年度長井市公共下水道事業特別会計補正予算第1号
- 議案第65号 平成24年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計補正予算第1号
- 議案第66号 平成24年度長井市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号
- 議案第67号 平成24年度長井市介護保険特別会計補正予算第1号
- 議案第68号 平成24年度長井市浄化槽事業特別会計補正予算第1号
- 議案第69号 平成24年度長井市後期高齢者医療特別会計補正予算第1号
- 議案第70号 平成24年度長井市水道事業会計補正予算第1号

開 議

○安部 隆委員長 おはようございます。

これから予算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

なお、新野 潔副市長から本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

平成24年度長井市各会計補正予算案に関する総括質疑

○安部 隆委員長 それでは、昨日に引き続き予算総括質疑を続行いたします。

ご指名いたします。

小関秀一委員の総括質疑

○安部 隆委員長 順位6番、議席番号5番、小関秀一委員。

○5番 小関秀一委員 おはようございます。

大分秋雨続いて心配したわけですが、きょうようやく久しぶりに上がって、刈り取りも少し進むのかなというふうにほっとしております。

大分海外も含めて、毎日、事件事故等あるわけで、非常に心配される毎日なわけですが、特にきょう通告しております最初の少子化、高齢化に向けた対策ということで、読売には、人口減6,325人ということで、県内過去最多の減少

率というふうな数字も昨年度のデータとして出ておりました。長井市の減少率としてはどうなのかですが、婚姻率、あと、出生率についても非常に厳しい数字が出ておるといふようなことを発表されておりますので、長井市にとっても3万人を復活というふうなテーマを掲げてのまちづくりになるわけですが、現実には私たち周辺を見ても、若い人がなかなか少ない、出生が少ない。

先日、各地区でも行われたかもしれませんが、敬老会等の、いわゆるまだ元気なお年寄りの方々、例えば平野ですと、75歳以上の敬老対象が485名でしたか、約200名ほど出席していただいたわけですが、それでも住所を移して施設等に入っておられる地域の老人の方もまだまだ潜在的におられるんだなというふうなことを考えれば、対策としても、行政の仕事まだまだいっぱい考えていかないといけないことあるべというふうに通感するものです。特にひとり暮らし、あと老人だけの世帯が非常に多くなってるなというようなことが、例えば冬場の雪おろしの対策とか、いろんな場面、場面でよく耳にするわけですし、気にもなります。ぜひそういう方々のフォローアップとか、相談の窓口等の対策として、老人世帯の把握についてどうされておるのか、これについては福祉生活あんしん課長から、現況なり、これからの取り組みについて報告をいただきたいなというふうに思います。

○安部 隆委員長 小泉良一福祉生活あんしん課長。

○小泉良一福祉生活あんしん課長 老人世帯の把握というふうなことで、お答えをしたいと思います。

まず、世帯の調査というふうなことでは、直接市では行ってないところがございます、地区が行っております。市は、地区が調査する世帯の様式を作成して提供しておりますが、地区で調査した成果については、個人情報であり